

宮城大学情報ネットワークシステム 更新プロジェクトにおけるRFPの開発

宮城大学大学院 事業構想学研究科 松田篤

宮城大学 事業構想学部 須栗裕樹

目次

更新プロジェクトの概要

- 遂行方針・手続き

宮城大学情報ネットワークシステムの概要

- 現状分析

本RFPの概要

- ユースケース

結論・今後の展開

更新プロジェクトの概要

2013年8月に宮城大学の情報ネットワークシステムの更新 (現システムのリース終了)

宮城大学にとって適切なシステムの導入

- 現システムの課題を改善
- 費用対効果

プロジェクトの遂行方針

利用者が主体的に要求事項を取りまとめ、業者を選定

現行の業者主導の調達手続きから脱却

選定された業者と利用者とは密接に協働

プロジェクトの手続き

情報提供依頼 (Request for Information)
に相当する勉強会の開催

利用者アンケート調査

次期情報ネットワークシステムの利用形態
をまとめたユースケースの開発 -> RFP

現ネットワークシステムの概要

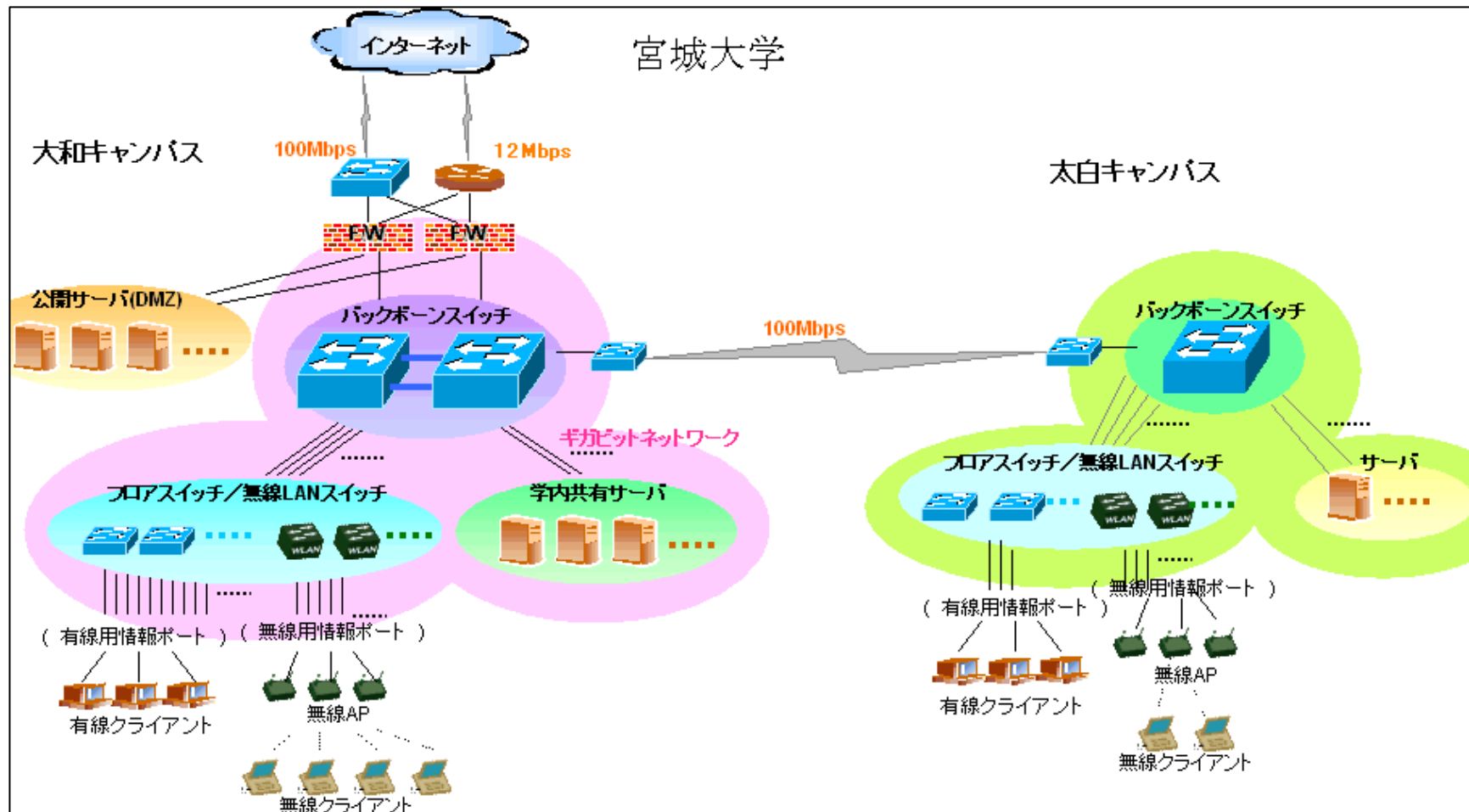
システムの範囲

大和キャンパス (宮城県黒川郡大和町)
- 事業構想学部、看護学部、大学院

太白キャンパス (宮城県仙台市太白区)
- 食産業学部、大学院

サテライトキャンパス (仙台駅前、南三陸町)
付属農場

現ネットワークシステムの概要



現ネットワークシステムの概要

情報基盤システム

- インフラストラクチャ (配線、無線AP等)
- 基本サーバ群 (DNS、メールサービス等)
- 設置端末 (PC、プリンタ等)
- 2013年8月に入換え

教育研究・業務支援システム

- 業務アプリケーション群
- 2014年8月から順次入替え

情報基盤システムの現状分析

大学からインターネットへの経路

- ・ 回線速度
- ・ プロキシサーバ

大和 – 太白キャンパス間の経路

- ・ 広域イーサネット

学内LAN環境

- ・ 耐障害性
- ・ セキュリティ

印刷環境

- ・ 印刷方法

情報基盤システムの現状分析

コンピュータラボの運用管理

- ・ 起動時間
- ・ 費用対効果

学外向けサーバ及びコンテンツ

- ・ 365日24時間運用

学外から学内サービスの利用

- ・ VPN - GW

情報基盤システムの現状分析

学内ウェブサービスの運用

- ・ シングルサインオン

ウェブページの管理

- ・ 運用体制

セキュリティ・バックアップ・障害対策

- ・ 使用しているプロトコル
- ・ 地理分散

本RFPの概要

ITコーディネータ協会が提供している開発委託用RFPテンプレートを利用

RFPの構成

- 現システム概要・宮城大学の概要
- 提案依頼事項 -> 現システムの現状分析
次期システムの利用目的
- 添付資料 -> ユースケース

システムの利用目的

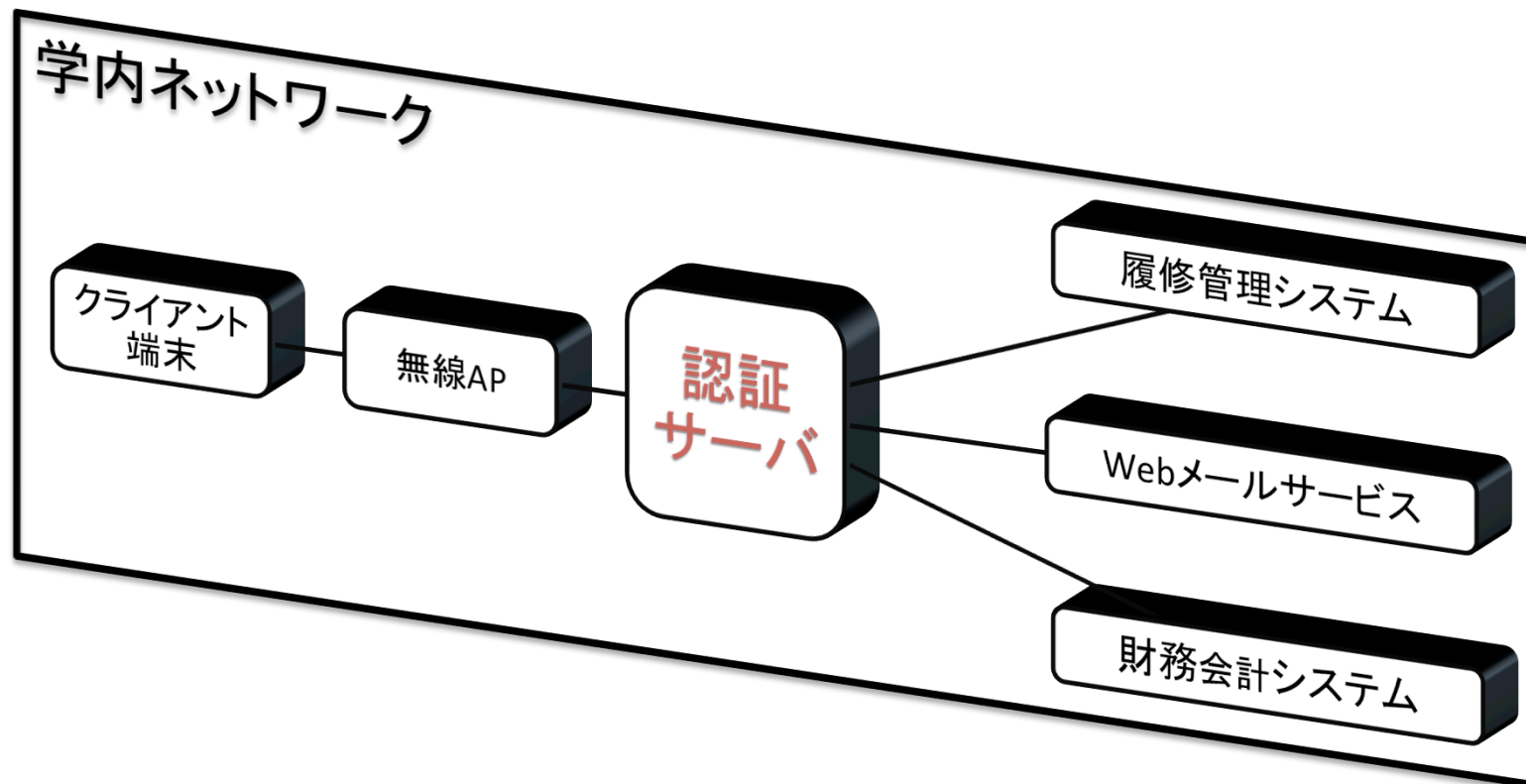
- ・ 大学業務（教育、研究、事務）の生産性の向上
- ・ 業務アプリケーションが安定して稼働する
インフラの構築

イントラネット・インターネット環境	無線LAN環境	シングルサインオン環境
コンピュータラボ環境	有償ソフトウェア環境	印刷環境
ウェブサービス環境	電子メール環境	セキュリティ・アクセシビリティ環境
バックアップ・アベイラビリティ環境	教職員オフィス環境	

ユースケース

シングルサインオン環境の利用

- 学内向けサービスへのシングルサインオン



ユースケース

コンピュータラボの利用

- 学部ごとの利用の違い

事業構想学部

- ラップトップを拡張して利用できる施設
- ラップトップ上から起動できる仮想OS

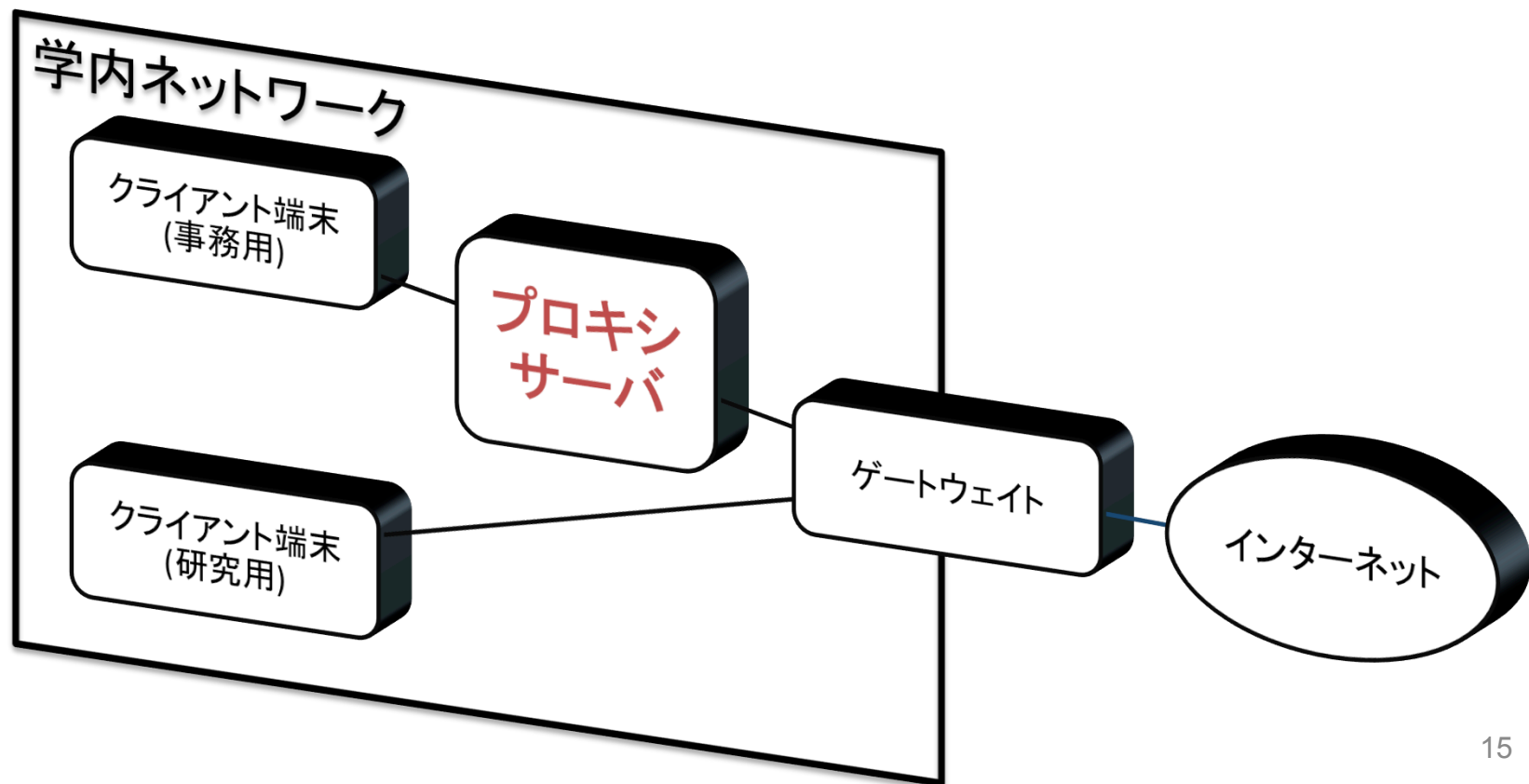
看護学部
食産業学部

- 従来通りのコンピュータラボを提供

ユースケース

インターネットの利用

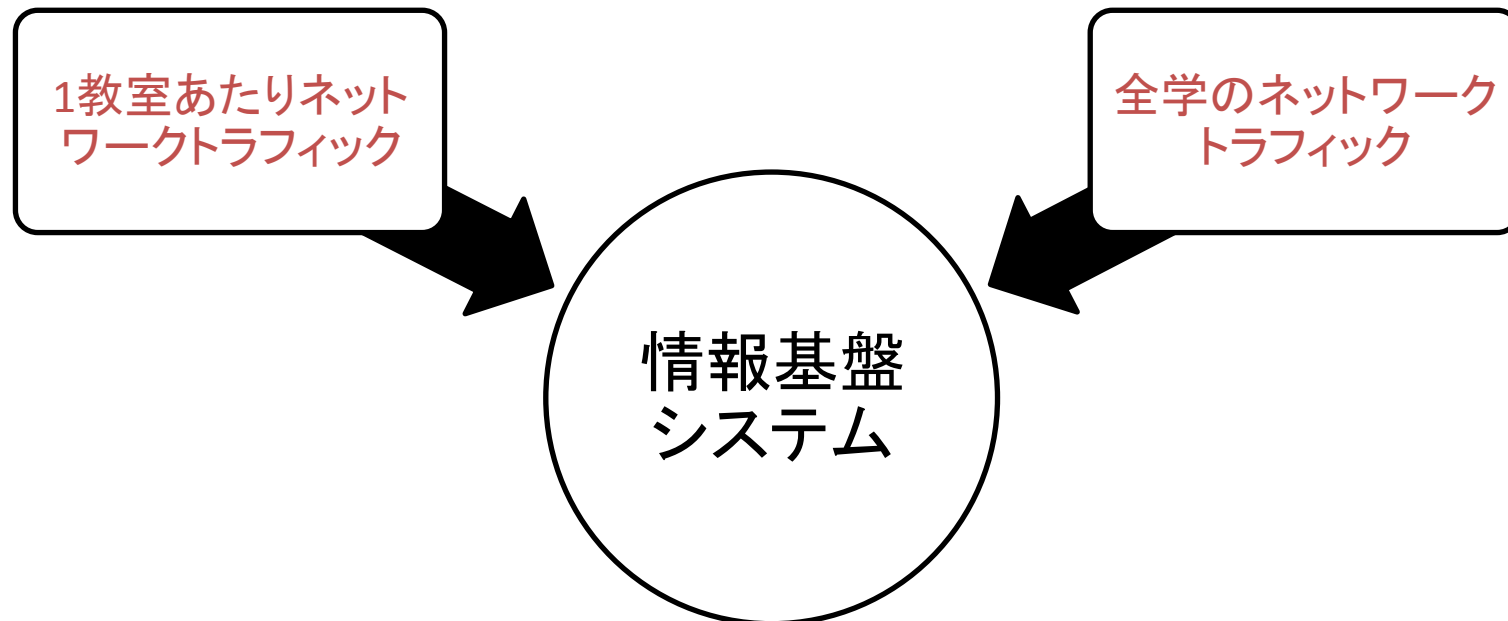
- 立場によって制約を設ける



ユースケース

トラフィックのワーストケース

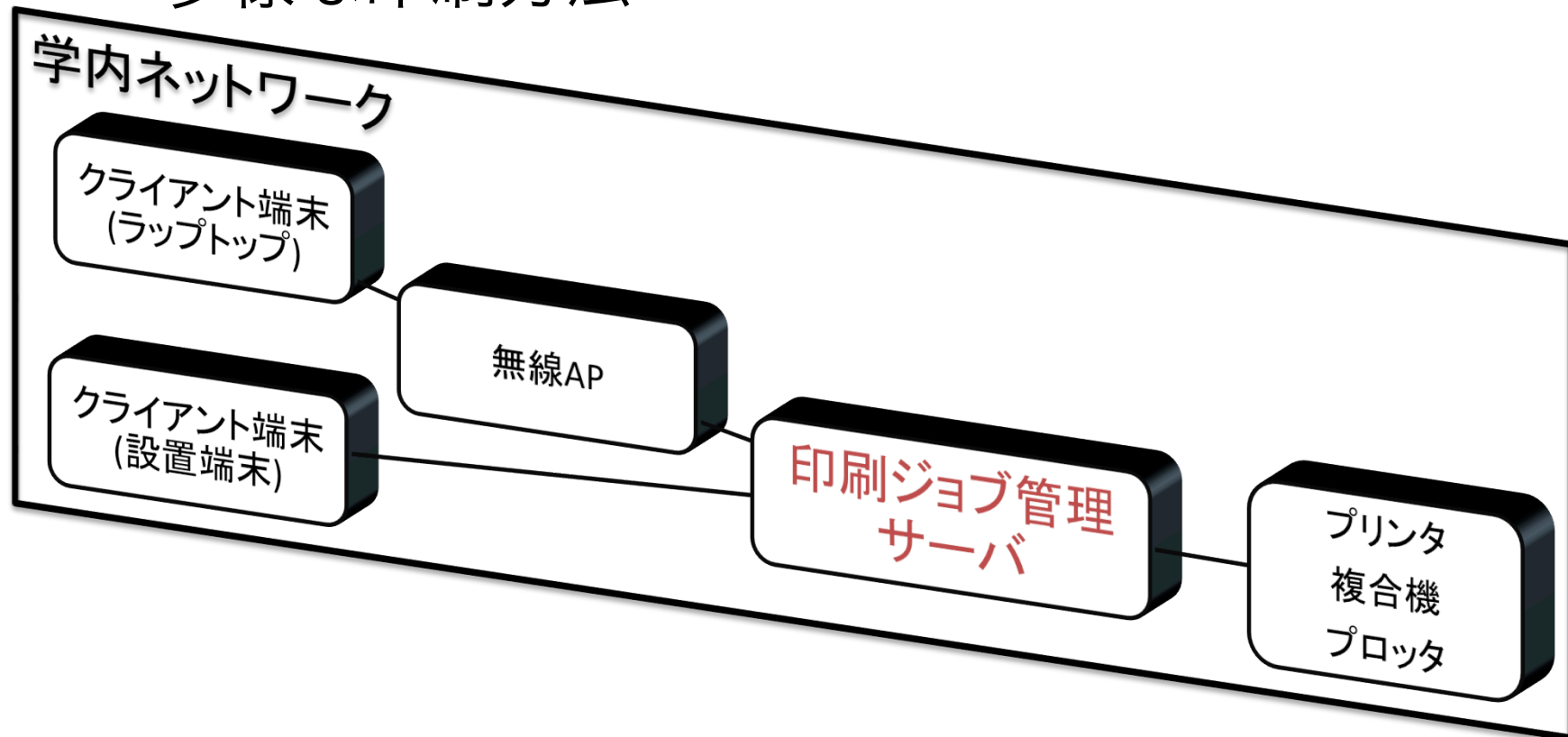
- 現在のネットワークトラフィックに耐えうるインフラの利用



ユースケース

印刷環境の利用

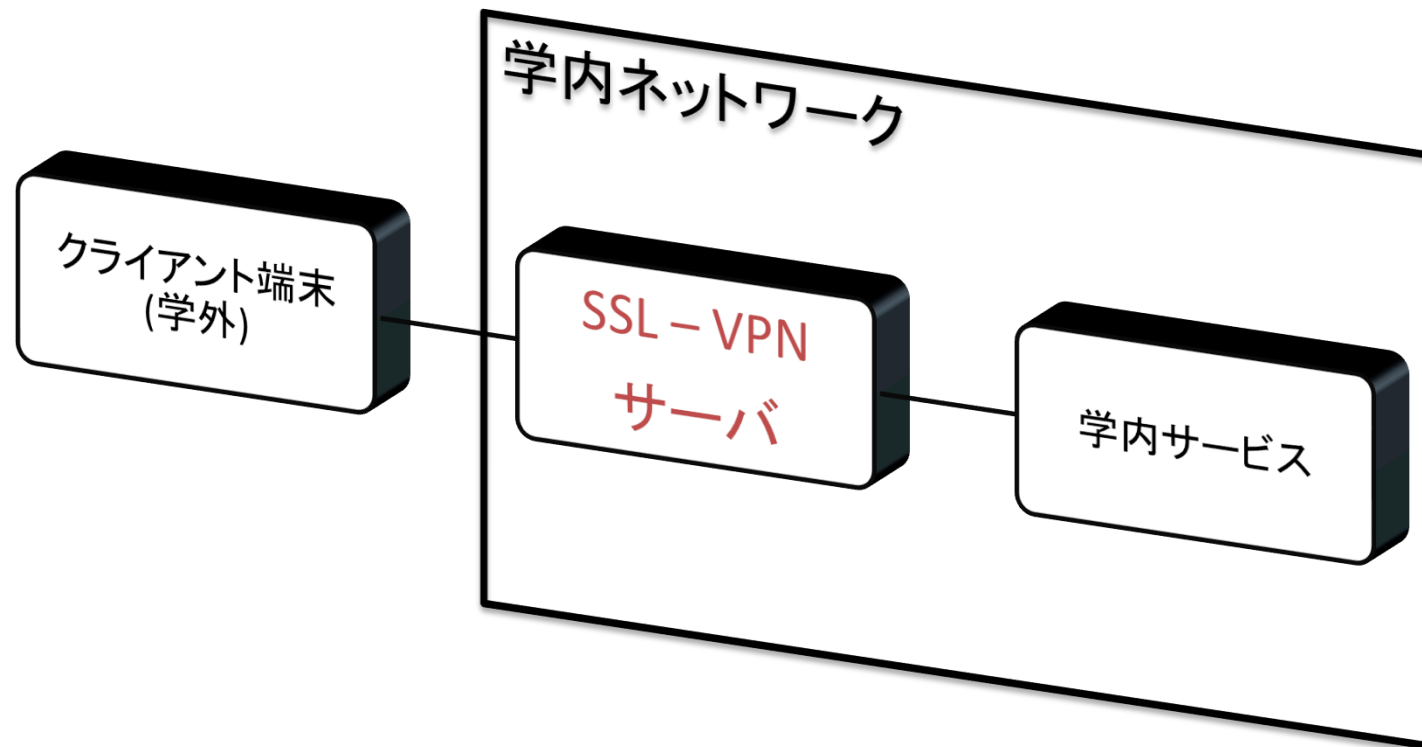
- 多様な印刷方法



ユースケース

学外からの接続

- SSL – VPNの利用



ユースケース

有償ソフトウェアのライセンス管理

- 適切なライセンス管理

ライセンスの配布

- 個人ラップトップで有償ソフトウェアを利用

設置PCに有償ソフトウェアを導入

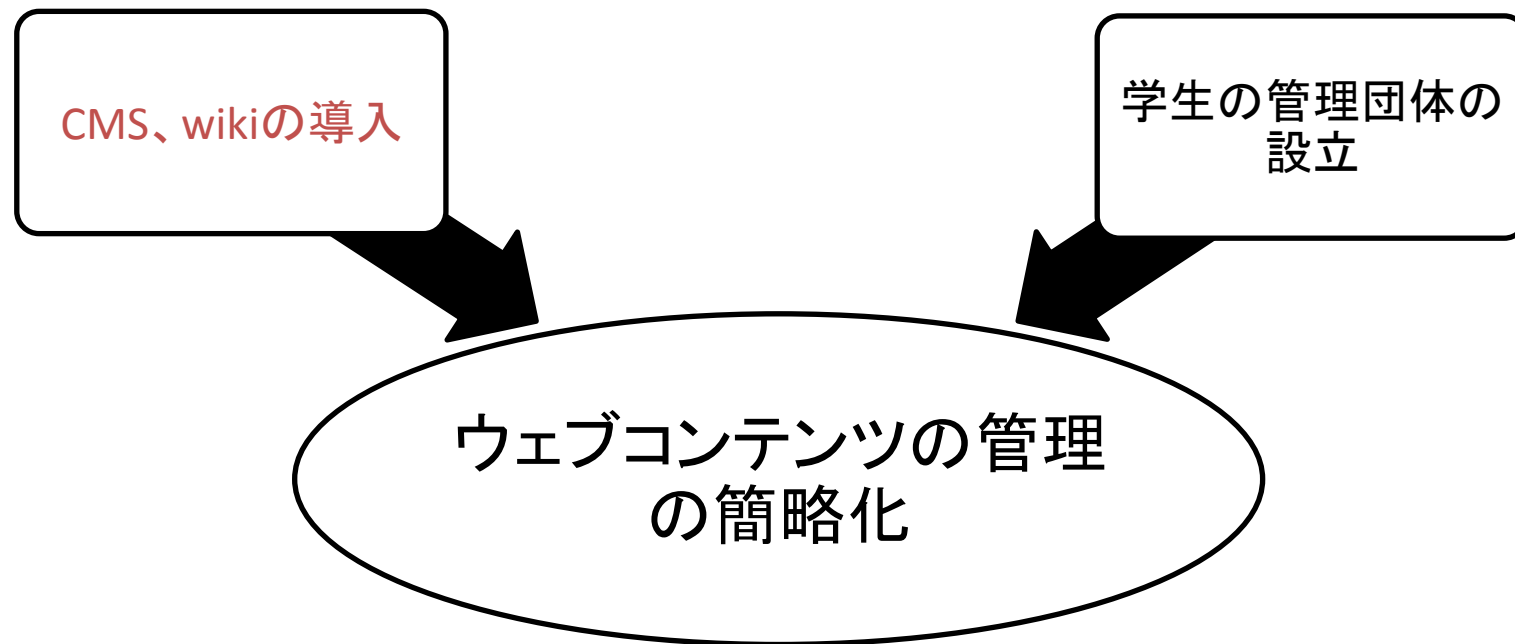
- 有償ソフトウェア導入端末を設置

仮想環境上で有償ソフトウェアを利用

- 有償ソフトウェアを仮想OSに導入し、個人ラップトップで利用

ユースケース

ウェブコンテンツの管理 - 管理の簡略化



結論・今後の展開

利用者の積極的な参加

適切な業者、適切な価格

設計業者との密接な関わり